
岡山大学のミッション

高度な知の創成・創発・継承を通じた、人類社会の持続可能な未来の実現

岡山地域は、日本初の庶民のための学校「閑谷学校」創建、備中松山藩の財政再建・教育改革など、社会課題に向き合ってきた歴史と、人・物・文化が交わる要所として多様な交流が育まれてきた地理的特色を有しています。

岡山大学は、「研究大学」として、こうした地域の歴史と特色を背景に、多様な知と人材が集い新たな知を生み出す知の交差点となり、高度な知を生み出し(創成)、分野を越えて知を融合し発展させ(創発)、未来を担う人材を育むことでその知を次世代へと受け継いでいきます(継承)。そして、学内から地域、世界へと広がる多様なステークホルダーと共に地球規模の課題解決に取り組むことで、持続可能な未来の実現に貢献します。

経済学部 of 学士課程教育における方針

1. 学士課程教育の方針

教育の基本的目標

経済学部は、経済学・経営学・会計学の幅広い知識と深い専門的な能力を育成するとともに、学生同士や教職員および地域社会との密接な対話や議論を通じて、社会や経済が直面する課題を早期に発見し解決するための能力を涵養します。それぞれの学生の個性に応じた豊かな人間性を熟成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍しうる能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。経済学・経営学・会計学に関する専門的な学術知識を教授するとともに自ら研究することを促し、現在および将来の社会的要請に応えうる人材を育成することを目的とする。

養成する人材像

教育の基本的目標に掲げられた、「経済学・経営学・会計学の幅広い知識と深い専門的な能力」を専門力、「社会や経済が直面する課題を早期に発見し解決」を探究力および実践力、「学生同士や教職員および地域社会との密接な対話や議論」をコミュニケーション力、「豊かな人間性」を教養力としてそれぞれ捉え、国内外の幅広い分野において中核的に活躍しうる能力と人格を備えた人材を養成します。

高度な専門性を背景とした冷静な分析力と社会問題への深い理解を兼ね備えた探究者

以下、5つの力を持つ人材を養成します。

- 課題の解決に向けて、意欲的・積極的に取り組む実践力
- 社会や経済の本質を理解し、課題を見出す探究力
- 他者を尊重し協働するコミュニケーション力
- 経済学・経営学・会計学の知識に基づく専門力
- 幅広い学びから柔軟な思考を導く教養力

2. 卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）

経済学部は、先に掲げた人材を養成するため、所定の期間在学し、以下に掲げる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

3. 修得できる力：実践力・探究力・コミュニケーション力・専門力・教養力

【実践力】課題の解決に向けて、意欲的・積極的に取り組む実践力

直面する課題の解決に向けて、自ら意欲的・積極的に行動することができる。

【探究力】社会や経済の本質を理解し、課題を見出す探究力

冷静に物事の本質を理解し、何が問題なのかを明らかにすることができる。

【コミュニケーション力】他者を尊重し協働するコミュニケーション力

他者の意見や多様性を理解して尊重し、協働することができる。

【専門力】経済学・経営学・会計学の知識に基づく専門力

経済学・経営学・会計学の専門的知識と分析力を活用することができる。

【教養力】幅広い学びから柔軟な思考を導く教養力

幅広く学ぶことで自らの好奇心を刺激し、柔軟な思考力を持つことができる